

令和6年度 鴻巣市地域公共交通会議 議事録

会 議 名	令和6年度鴻巣市地域公共交通会議
日時場所	令和6年11月12日（火） 14:00～15:50 市役所1001会議室
出席者	会 長 山崎 勝利（鴻巣市副市長） 副会長 田中 恵司（鴻巣市自治会連合会） 委 員 田沼 健一（朝日自動車株式会社） 委 員 野中 裕司（ロイヤル交通株式会社） 委 員 中山 貴浩（代理）（東武バスウエスト株式会社） 委 員 石橋 泰浩（熊通タクシー株式会社） 委 員 関根 肇（一般社団法人埼玉県バス協会） 委 員 長谷川洋司（鴻巣地区警察タクシー連絡協議会） 委 員 松本 行雄（鴻巣市老人クラブ連合会） 委 員 大島 幸雄（鴻巣市民生委員児童委員協議会連合会） 委 員 福島日出男（鴻巣市商工会） 委 員 澤近 幸子（鴻巣市交通安全母の会） 委 員 清水 浩（鴻巣市医師会） 委 員 坂井 貴夫（関東運輸局埼玉運輸支局） 委 員 村上 晶彦（埼玉県企画財政部交通政策課） 委 員 山口 竜馬（鴻巣警察署）
欠席者	委 員 井上 修（川越観光自動車株式会社） 委 員 吉田 大樹（鴻巣市PTA連合会） 委 員 飯塚 光弘（朝日自動車株式会社労働組合） 委 員 木田 博之（埼玉県北本県土整備事務所）
事務局	関根 則男（市民生活部長） 武田 昌行（市民生活部副部長） 小野田 直人（自治振興課長） 石田 アイ子（自治振興課副課長） 山崎 功一（自治振興課主査） 山田 美穂（自治振興課主任） 新井 志穂子（自治振興課主任）
傍聴者数	なし
会議資料	会議次第、委員名簿 議題 （1）「フラワー号」について 資料1-1 フラワー号の運行状況について 資料1-2 広田コースのルート変更について 資料1-3 常光コース「スカイハイツ前」・「人形4丁目」停留所の新設について 資料1-4 ゼロカーボンシティの実現に向けた公共交通分野における今後の取組について （2）「このす乗合タクシー」及び「ひなちゃんタクシー」について 資料2-1 このす乗合タクシーの運行状況について 資料2-2 ひなちゃんタクシーの運行状況について 資料2-3 市外共通乗降場「石井クリニック」「匠の杜薬局」の追加について 報告事項 （1）鴻巣市運賃協議会の開催について 資料3-1 広田コースのルート変更に伴う運賃設定について 資料3-2 フラワー号の特別乗車証発行対象者の拡大について （2）鴻巣市地域公共交通計画の策定について 資料4 鴻巣市地域公共交通計画の策定について 参考資料 鴻巣市公共交通利用ガイド

1 開会（副課長）

資料の確認、委員の出欠席の確認

2 あいさつ（副市長）

3 議事（議長：山崎副市長、副会長：田中委員）

議題（１）「フラワー号」について

①フラワー号の運行状況について

―事務局より資料説明―

（委員）

バスロケーションシステムは、自分のスマホで位置を知らせ、停留所みたいなものが出て、バスが来るのを表示できるというものか。

もう１点目が、乗降カウントセンサーのところで、自分の位置表示のアプリが入っているから、乗ると数がカウントできるのかということと、降りた場合もカウントできるのか。

（事務局）

１点目のバスロケーションシステムは、システム上で自分が利用したいバス停を選ぶと、あと何分くらいでバスが来るのかを見ることができるので、それを確認いただくようになる。

２点目は、乗降口にそれぞれカメラが付いており、利用者の乗り降りがカメラで判別され、人数がカウントされる。

（会長）

昨年度のこの公共交通会議において、運転手不足等の２０２４年問題を報告いただいたが、今年の４月から運転手の時間外労働の上限の制限が始まり、実際に運行されている事業者の皆様に状況をお聞かせいただきたい。

（委員）

昨年度中から対応は進めていて、それでも運転手が採用できないところもあり、運行日数を減らす、鴻巣市のフラワー号でいえば、土曜日を休日ダイヤにし、人を使う日数を減らすことで対応させていただいている。

また、一般路線バスにおいても、ご利用が少なくなっている夜の時間帯や土日の減便を、各営業所で進めているが、ご利用が多い時間帯はできるだけ運行回数を確保するような形で、当社では対応している。

また採用活動については、毎月４・５回ぐらい会社の説明会というのをあちこちで行っており、説明会を多くやることで、採用に繋げていこうとしている。

またバス協会様や自治体様の色々な会社説明会の会場をお借りし、一緒になって運転手不足解消に取り組んでいるところである。

（委員）

私どもの方も同じ状況が続いており、運転手不足・運転手の高齢化により無理が来ているような状況である。

現状で働いている方は、歳を重ねるごとにどうしても体力的な問題が生じてきており、それらを加味しながら、新規採用を重点的にやっている。

求人募集も行っているが、なかなか思うようには集まってこないのが現状で、若い人たちが二種免許に限らず、普通免許も取らないような方が多くなり、自動車産業で働きたいという方の絶対数が、年々減っているように感じる。

コミュニティバスは毎日のことであるため、穴を開けるわけにはいかないので、一度退職された方に来ていただいて、どうにか現状の運行を維持している。

②広田コースのルート変更について

―事務局より資料説明―

（委員）

前に右折が２ヶ所直角であるが、そこは大丈夫か。信号があるのか。

(事務局)

そのところは、安全に走行できるということで確認している。信号はない。

—提案のとおり承認—

③常光コース「スカイハイツ前」・「人形4丁目」停留所の新設について

—事務局より資料説明—

(委員)

同じ場所に設置するということだが、この写真の北本のバス停と並ぶ感じか。

(事務局)

並ぶような形だが、本市のバス停の方が後から置かせてもらうのに手前という訳にはいかないの
で、けんちゃんバスのバス停の後ろに並べるイメージである。

(会長)

現在も常光コースでは、けんちゃんバスのバス停と並んでいる停留所があるか。

(事務局)

北本の「宮内交差点」から「北本三丁目」の4か所がある。

—提案のとおり承認—

④ゼロカーボンシティの実現に向けた公共交通分野における今後の取組について

—事務局より資料説明—

(委員)

利用促進の件で、かわさとフェスティバルでバス教室を開催とのことだが、かわさとフェスティバ
ルでやるというのは何か意味があるか。

(事務局)

かわさとフェスティバルの開催場所は敷地も広く、警察署や消防署も車両展示をしており、バスが
置きやすいこと、また来場者も多く、大勢の方が利用体験をすることができるため。

(委員)

吹上でコスモスフェスティバルもやっているが、今年の状況ならば、バスを置くことができると思
う。私がコスモスフェスティバルの実行委員をやっており、お祭りを盛り上げるためにも検討しても
らいたい。

(事務局)

バス事業者と協議しながら検討させていただきたい。

(委員)

タクシーの件で、周知ということで出前講座をやってもらうとよくわかると思うが、私の住んでい
る自治会では案内がない。自治会からアプローチするのか。

(事務局)

出前講座をご希望の場合、自治会の方から自治振興課にお話いただければ何う。

出前講座自体が、自治会単位だけという訳ではなく、他の集まりにも行かせていただくため、各団
体で計画していただきたい。

(委員)

現在 EV バスを運行させていただいている事業者として、意見を上げると、導入当初は非常に
故障が多く、運行中止まってしまうことがあったが、今は順調に車両自体に故障はなく運行はでき
ている状況。

しかしながら、経路充電している充電器が、充電できなくなってしまうといった事象があったり、
ワイパーの不具合を直すために中国から部品を取り寄せたため、長い期間運行ができなくなっていま

ったりというデメリットがあった。

ゼロカーボンの取組については理解するが、運行事業者とすると、現状のまま1台増やすのは厳しい面がある。充電器については、経路で充電しないと1日の運行ができないため、もう1台設置していただくなどしてもらいたい。

もう1台EVバスを導入するとしたら、営業所にも追加で充電器を設置していただかないと、実際運用が厳しくなるものと考えている。

ただ、充電器をもう1台入れると、キュービクルの設置等、金額的に大きくなると思うので検討いただきたい。

なかなか無いことだとは思いますが、停電などで充電ができなかった場合、バス3台が動かなくなってしまうので、当社予備車の持ち合わせはあるものの、3台全部を予備車というのは厳しい状況もある。

そういったことをあらかじめご承知おきいただきたい。

(2) このす乗合タクシー及びひなちゃんタクシーについて

①このす乗合タクシーの運行状況について・②ひなちゃんタクシーの運行状況について
—事務局より資料説明—（質疑なし）

③市外共通乗降場「石井クリニック」「匠の杜薬局」の追加について
—事務局より資料説明—

(委員)

石井クリニックさんの手前に皮膚科があるが。

(事務局)

検討を行う条件として、市民の受診が特に多いという面から、今回は石井クリニックのみとしている。

(委員)

利用の際に、石井クリニックさんと指定するのか。

(事務局)

指定する。今まで石井クリニックの最寄りの共通乗降場は、ものづくり大学入口のバス停となっており、そこで降りたあと、歩いて石井クリニックまで行かなければならなかったのが、今回承認いただくと、病院の前までいけるようになる。

(委員)

乗降車する場所は、基本的には敷地内か。道路上か。

(事務局)

敷地内で考えている。

(委員)

検討の一番の条件で、市民の受診が特に多いという曖昧な表現になっているが、厳しく定義した方がいいのではないか。

具体的には鴻巣市内の整形外科の中で比べると上位どれぐらいに入っているのか。

(事務局)

市内の整形外科を受診が多いところをいくつか拾い、それらと比較しても多いところを、今のところ選んでいる。

そのため、受診が多いというのはただ単に人数的に多いのではなくて、市内の利用が多い・受診者数が多い病院と比較して、同じぐらいの数の受診があるという意味になる。

(委員)

川里の場合はヘリオス会病院が停留所になるのか。

ルートはどうなるのか、吹上を経由してぐるっと回るということか。

(事務局)

乗合タクシーは利用者の予約に応じて一番効率良いようなルートで行くもので、ヘリオス病院はもちろん共通乗降場になっている。

方向が同じ方がいる場合は乗り合いをするが、行先が全然違う場合は、別の車両になる。

そのあたりのオペレーションは予約センターの方で行う。

(事務局)

現在、埼玉県内でデマンド交通導入の検討を始めているとか、現在の導入状況、今後導入の予定の箇所などはあるか。

(委員)

埼玉県内は各自治体が色々と一生懸命取り組んでいただいているので、コミュニティバスにしてもデマンド交通にしても、結構導入されているように感じる。

—提案のとおり承認—

4. 報告事項

(1) 鴻巣市運賃協議会の開催について

①広田コースのルート変更に伴う運賃設定について・②フラワー号の特別乗車証発行対象者の拡大について
—事務局より資料説明—

(委員)

ルート変更の実施日と、割引対象者の拡大の実施日は、同じ4月1日ということか。

それともルート変更だけを先に進めるのか。

(事務局)

両方とも適用開始は4月1日、あくまでも運賃協議会を経てからと考えている。

(委員)

ちなみに運賃協議会は、いつ頃を予定しているのか。

(事務局)

12月19日を予定している。これらの変更手続き上のスケジュールはどうか。

(委員)

道路運送法上の事業計画の変更認可申請というものが必要だが、標準処理期間が概ね2ヶ月となっており、年度末に審査の申請が集中するため、12月19日の運賃協議会の後に申請するとなると、4月1日というのが適当かと思う。

(2) 鴻巣市地域公共交通計画の策定について

—事務局より資料説明— (質疑なし)

5. その他

鴻巣市運賃協議会の開催日について、事務局より報告した。

6. 閉会